



2025 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 日 本 曹 達 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 阿 賀 英 司
(コード番号 4041 東証プライム)
問合せ先 総 務 部 長 片 岸 豊 信
(TEL 03-6366-1920)

長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」KPIの見直しと 新たな資本政策の導入に関するお知らせ

当社は、2020 年 5 月 19 日に公表しました日本曹達グループ長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」の KPI を一部見直すとともに、資本効率の改善に向けた新たな資本政策を導入いたしましたので、お知らせいたします。

記

当社は、日本曹達グループ長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」(2020 年度～2029 年度)を策定し、「新たな価値を化学の力で創造し、「社会への貢献」を通じ「企業価値の向上」を実現する。」というミッションのもと、企業価値の向上と社会価値の向上を両輪に据えた経営を実践してまいりました。

2024 年度までの前半 5 年間におきましては、成長ドライバー事業が拡大するとともに、不採算事業の整理を含む事業ポートフォリオ変革の推進により収益性が向上し、高効率な事業構造への変革が着実に進捗しました。また、2025 年度から後半の 5 年間でスタートしましたが、キャッシュフロー創出力を高める成長投資が計画通りに進捗するとともに、新規事業の創出が着実に前進しています。その一方で、コロナ禍以降の事業環境の変化や、地政学的リスクによる不確実性の拡大など、当社グループを取り巻く経営環境が大きく変化していることを踏まえ、今般 KPI を一部修正するとともに、資本効率の改善に向けて新たな資本政策を導入することといたしました。

新たな資本政策に基づき、本日発表いたしました「2025 年 3 月期(第 156 期) 配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」の通り、2025 年 3 月期の期末配当予定を 1 株当たり 20 円増配し、年間配当金予定を 120 円から 140 円(2024 年 10 月 1 日に実施した株式分割後ベース)に修正することを決議いたしました。また、本日発表いたしました「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」の通り、取得株式の総数 250 万株、取得価額の総額 50 億円をそれぞれ上限とする自己株式取得を決議いたしました。

長期ビジョン見直しの詳細につきましては、添付資料をご参照ください。また、長期ビジョンの最終ステージとなる中期経営計画「かがくで、かがやく。StageⅢ」(2026 年度～2029 年度)につきましては、2026 年 5 月に公表を予定しています。

1. 2030 年 3 月期 KPI

ROS (営業利益率)	10%以上 (2020 年 2 月公表から変更なし)
ROA (総資産営業利益率)	7%以上 (2020 年 2 月公表から変更なし)
ROE (自己資本利益率)	10%以上 (2020 年 2 月公表 8%以上、2023 年 5 月修正 12%から再修正)

2. 新たな資本政策

バランスシート改革	棚卸資産の縮減、政策保有株式の整理
株主還元	累進配当方針を導入、自己株式取得を機動的に実施

以 上

かがくで、
かがやく。

日本曹達グループ長期ビジョン 「かがくで、かがやく。2030」（2020年度～2029年度）の 進捗状況と今後の取り組み

 日本曹達株式会社

2025年5月14日

- 1 長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」(2020年度～2029年度)
前半5年間の進捗状況**
- 2 長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」(2020年度～2029年度)
今後5年間の取り組み**
- 3 参考資料**

1 長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」（2020年度～2029年度） 前半5年間の進捗状況

総括

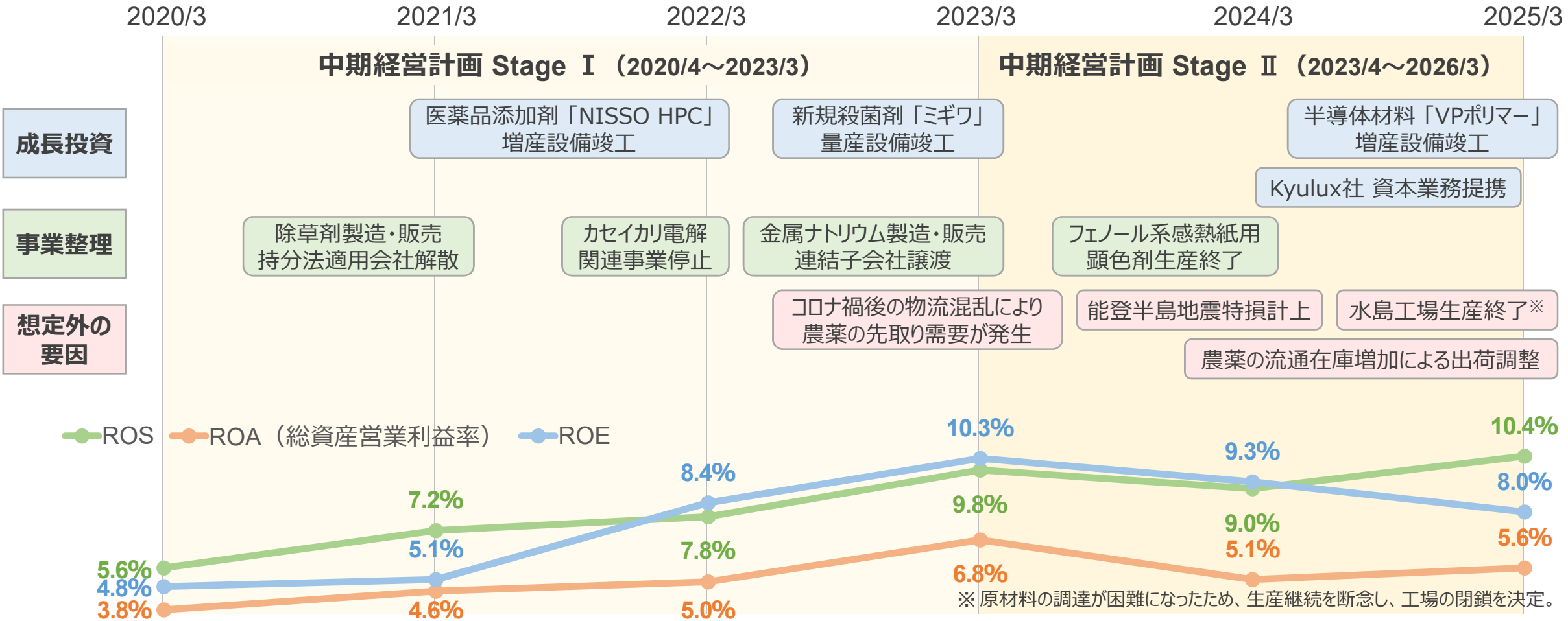
長期ビジョンKPIの進捗状況

事業ポートフォリオ変革

成長投資と株主還元

日本曹達グループ長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」 前半5年間の進捗状況

- 成長ドライバー事業が拡大、不採算事業の整理を含む事業ポートフォリオ変革を推進。
- キャッシュフロー創出力を高める成長投資が計画通りに進捗。
- 増配を実施、自己株式の取得を機動的に実施。



日本曹達グループ長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」 前半5年間の進捗状況

● 長期ビジョンKPIの進捗状況

ROS（営業利益率）

2025年3月期 **10.4%**

（2020年3月期 5.6%）

- ✓ 高付加価値事業の拡大と不採算事業の整理を推進
成長ドライバー事業が拡大、カセイカリ電解関連事業を停止
- ✓ 事業ポートフォリオ変革により、利益率が向上
金属ナトリウム・塩素の製造・販売連結子会社 Alkaline社の全株式を譲渡

ROA（総資産営業利益率）

2025年3月期 **5.6%**

（2020年3月期 3.8%）

- ✓ 事業ポートフォリオ変革による資産入れ替えを推進
成長投資を推進
金属ナトリウム・塩素の製造・販売連結子会社 Alkaline社の全株式を譲渡
- ✓ 政策保有株式の整理を継続的に実施（2019年3月期 52銘柄 → 2025年3月期 25銘柄）
- ✗ 棚卸資産回転率が低下（2020年3月期 3.7回転 → 2025年3月期 2.1回転）
調達や物流の不確実性により、原材料を積み増し
水島工場の生産終了に伴い、製品在庫を一時的に積み増し
- ✗ 成長投資により、建設仮勘定が増加（2025年3月期 122億円）
- ✗ 関係会社株式が増加（2020年3月期 169億円 → 2025年3月期 314億円）
持分法適用関連会社 IHARABRAS社（剰余金の資本金への振替、為替換算調整）
- ✗ 退職給付に係る資産が増加（2020年3月期 78億円 → 2025年3月期 145億円）
確定給付企業年金（DB）の資産運用が好調

ROE（自己資本利益率）

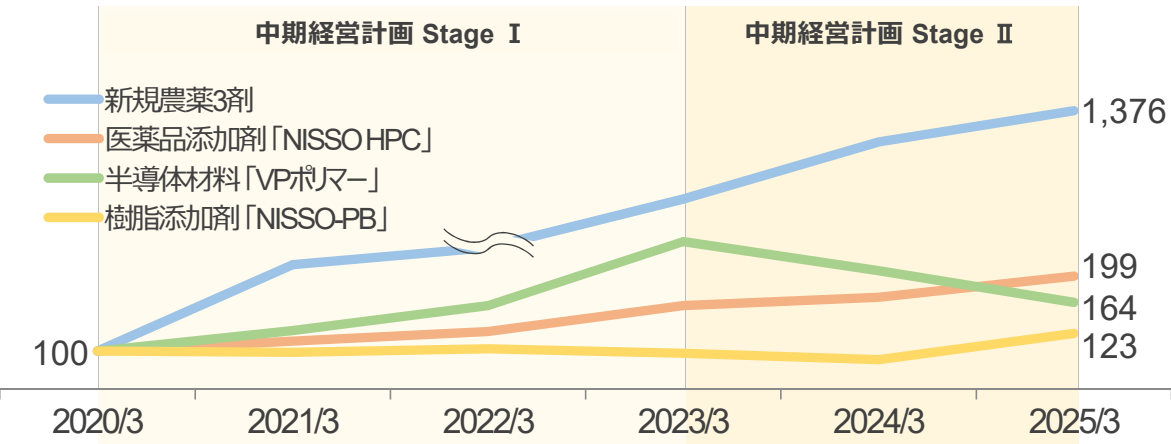
2025年3月期 **8.0%**

（2020年3月期 4.8%）

日本曹達グループ長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」 前半5年間の進捗状況

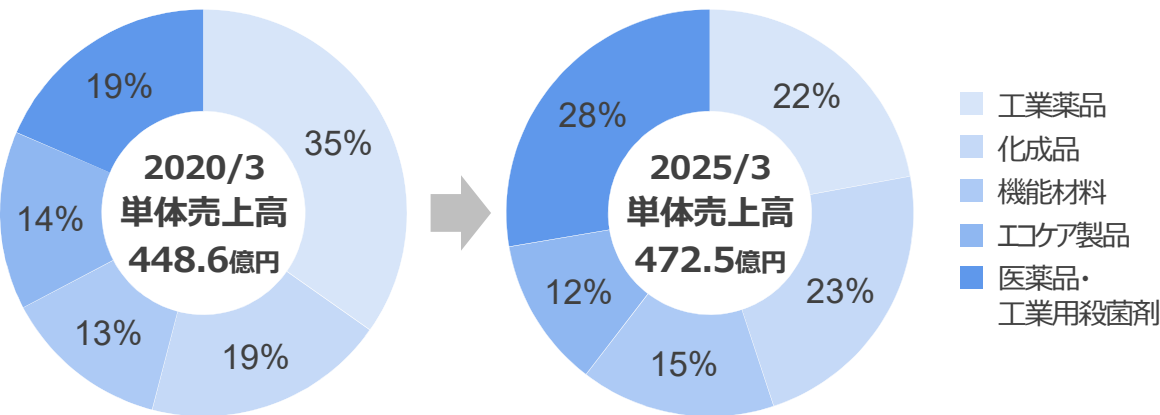
● 事業ポートフォリオ変革

成長ドライバー製品の売上高推移（2020年3月期の売上高を100として指数化）



- ・新規農薬3剤（殺菌剤「ピシロック」・「ミギワ」、殺ダニ剤「ダニオーテ」）
海外展開を推進、適用拡大が進捗
- ・医薬品添加剤「NISSO HPC」
医薬品市場の拡大と高度化する品質要求への対応により、販売が拡大
- ・半導体KrFフォトリソ材料「VPポリマー」
車載用半導体、生成AI用メモリ（HBM）向け販売が堅調
- ・樹脂添加剤「NISSO-PB」
AIサーバー用銅張積層板（CCL）向け販売が伸長

ケミカルマテリアルのサブセグメント別売上高構成（単体ベース）

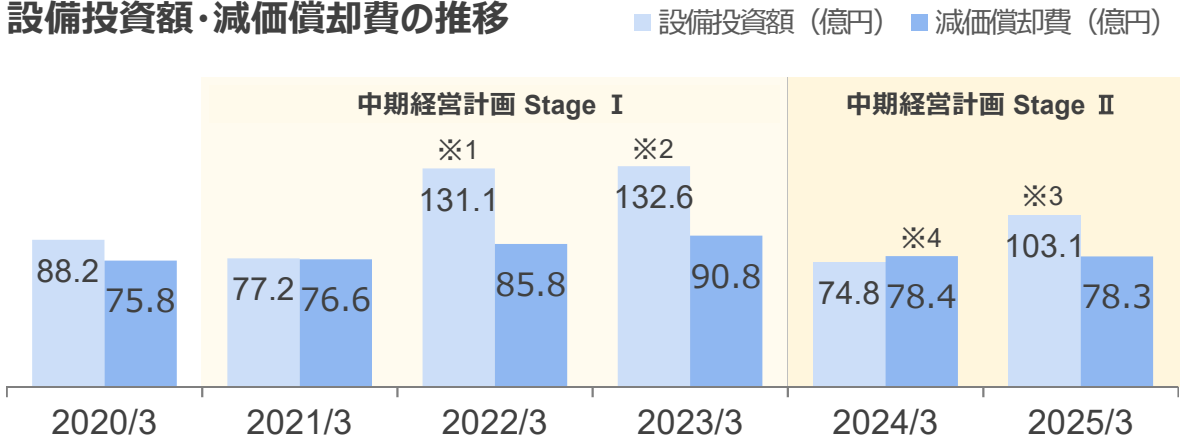


- ・高付加価値製品の拡大と不採算事業の整理により、製品構成が変化
工業薬品：カセイカリ電解関連事業を停止
化成品：非フェノール系感熱紙用顕色剤の販売が伸長、
フェノール系感熱紙用顕色剤の生産を停止
機能材料：樹脂添加剤「NISSO-PB」、半導体KrFフォトリソ材料「VPポリマー」の販売が堅調に推移
エコケア製品：塩素殺菌剤「日曹ハイクロン」の生産停止を決定
医薬品・工業用殺菌剤：医薬品添加剤「NISSO HPC」の販売が拡大

日本曹達グループ長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」 前半5年間の進捗状況

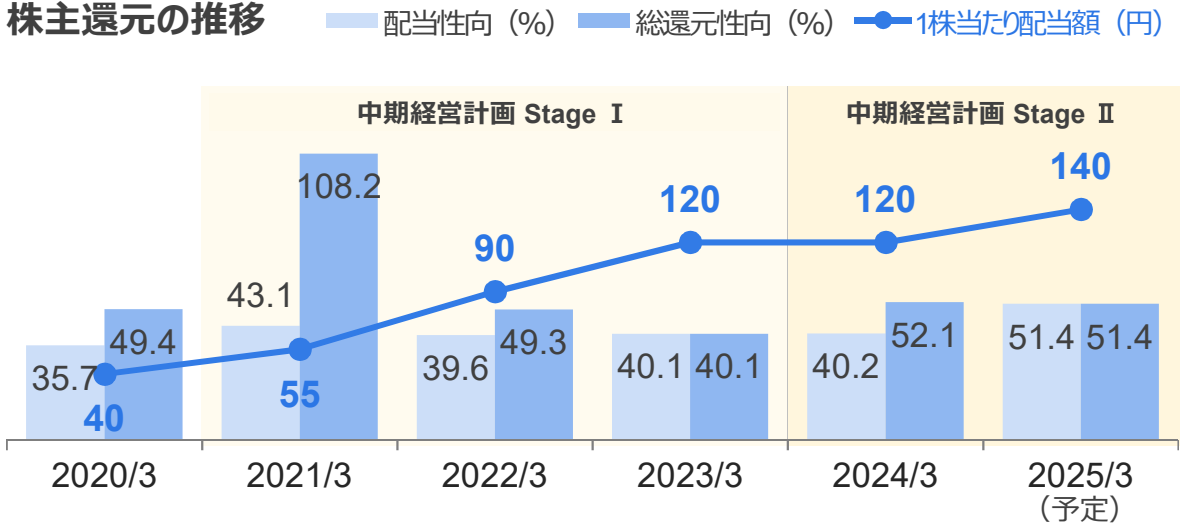
● 成長投資と株主還元

設備投資額・減価償却費の推移



- ※1 医薬品添加剤「NISSO HPC」増産設備 (50億円)
- ※2 新規殺菌剤「ミギワ」量産設備 (55億円)
- ※3 半導体KrFフォトリソ材料「VPポリマー」増産設備 (25億円)
- ※4 金属ナトリウム・塩素の製造・販売連結子会社 Alkaline社の株式譲渡により、減価償却費が減少

株主還元の推移



- ・中期経営計画 Stage I の目標である配当性向40%、Stage II の目標である総還元性向50%以上を達成
- ・自己株式の取得を機動的に実施、取得した全株式を消却
2020年 2月～2020年10月 50億円
2021年 2月～2021年 6月 20億円
2023年11月～2024年 3月 20億円

※ 配当金は2024年10月1日に実施した株式分割後のベースで算定

2 長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」（2020年度～2029年度） 今後5年間の取り組み

2030年3月期KPI

キャピタルアロケーション（5年間累計）

高付加価値事業の拡大

経営基盤の強化

資本効率の改善・株主還元

日本曹達グループ長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」 今後5年間の取り組み

- 前半5年間ににおける事業ポートフォリオ変革により収益性は着実に向上、今後5年間ににおける新規事業創出も着実に進捗中。
- コロナ禍以降の経営環境の変化を踏まえ、KPIのうちROEを修正（営業利益をベースとするKPIは変更なし）。
- KPIの達成に向けて新たな資本政策を導入、PBR1倍超の早期実現を目指す。

● 2030年3月期KPI（2025年5月一部修正）

ROS
(営業利益率)

10%以上

2020年2月公表から変更なし

ROA
(総資産営業利益率)

7%以上

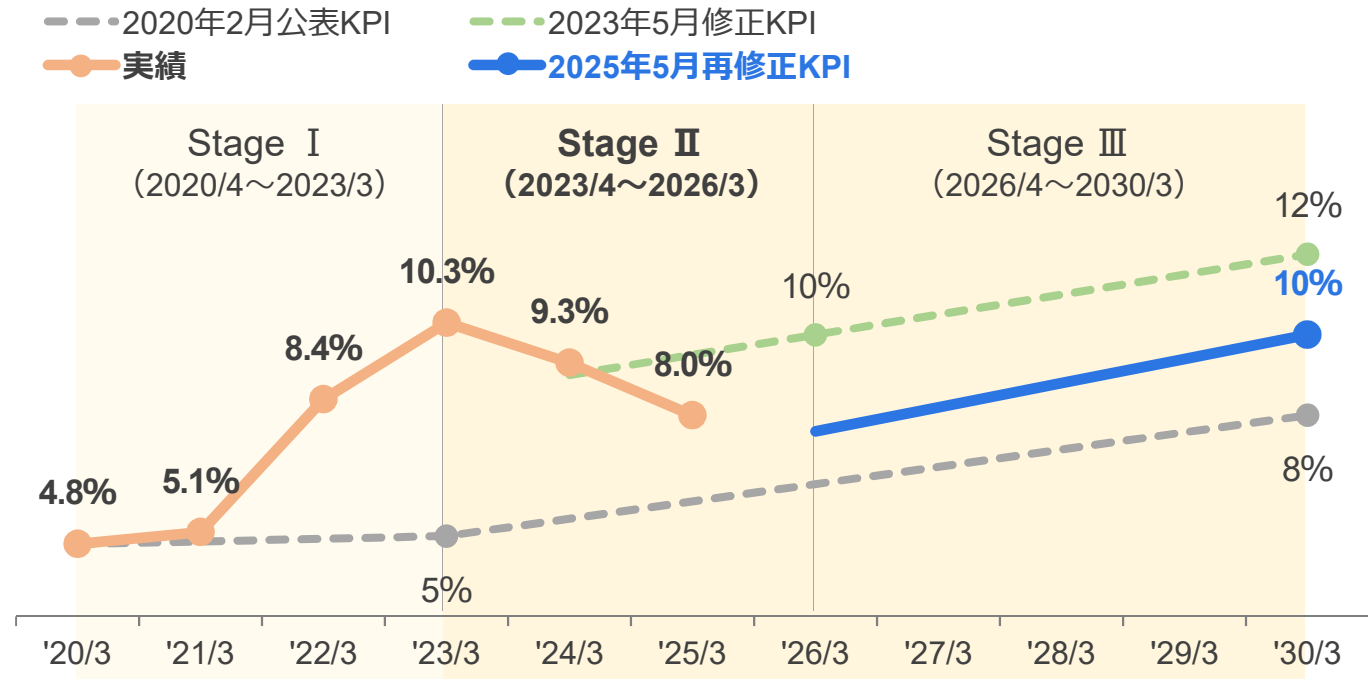
2020年2月公表から変更なし

ROE
(自己資本利益率)

10%以上

2020年2月公表KPI 8%以上
2023年5月修正KPI 12% → 再修正

ROE推移



コロナ禍以降の事業環境の変化や、地政学的リスクによる不確実性の拡大など、当社グループを取り巻く環境が大きく変化していることを踏まえ、2030年3月期のROEを“10%以上”に再修正。

日本曹達グループ長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」 今後5年間の取り組み

- 高付加価値事業の拡大と徹底した経営の効率化により、事業環境の変化に強く、安定した収益を生み出す体質に変革する。
- 新規事業により、新たな価値創出を図る。
- 成長投資と株主還元により資本効率を高め、企業価値向上と株主価値向上を図る。

● キャピタルアロケーション（2025年度～2029年度の5年間累計） ※青字記載部分は今回新たに策定・公表

2029年度までに棚卸資産回転率4.0回転を目指す （2025年3月期 2.1回転）	営業 キャッシュフロー （研究開発費控除前）	成長投資 （300億円）	成長ドライバー事業の拡大 （医薬品添加剤「NISSO HPC」増産、 医薬品・危険物自動倉庫建設（ロジスティクス） ） 新規事業投資（ 有機EL発光材料「TADF」 ）
		研究開発費 （400億円）	新規事業の創出 （ 有機EL事業、アニマルヘルス事業 ）
		機動的配分	企業価値の向上に資するスタートアップ投資、事業提携・M&Aを検討・実施
		経営基盤強化 （100億円）	生産年齢人口減少対策 （要員10%減少に対応できる体制を2029年度までに構築）
		維持更新投資 （300億円）	既存事業の基盤強化 最適生産体制の構築
早期に純資産比率10%未満、2029年度までに6%未満を目指す （2025年3月期 10.1%）	棚卸資産の縮減		
	政策保有株式の整理		
有利子負債調達による財務レバレッジの向上	資金調達	株主還元	累進配当方針の導入 資本構成の適正化・株価の状況などを考慮し、自己株式取得を機動的に実施
キャッシュイン		キャッシュアウト	

日本曹達グループ長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」 今後5年間の取り組み

● 高付加価値事業の拡大

成長ドライバー製品の さらなる拡大

- ・**新規農薬3剤**：海外展開を推進しさらなる適用拡大を図る、製造コスト低減により利益率向上を目指す
- ・**医薬品添加剤「NISSO HPC」**：海外展開を強化する、増産設備（2026年竣工）を円滑に立ち上げる
- ・**フォトレジスト材料「VPポリマー」**：車載半導体・従来型メモリ向けに加え、AI用HBM向けに拡販を図る
（HBM：High Bandwidth Memory）
- ・**樹脂添加剤「NISSO-PB」**：銅張積層板（CCL）向けにさらなる拡販を図る
AI・高速サーバー向け新規開発難燃・耐熱グレードの早期上市を目指す

新規事業の創出

有機EL事業

アニマルヘルス事業

- ・**有機EL発光材料「TADF」**
世界初となる「TADF」の量産・安定供給体制を構築する
2026年度の量産開始、2028年度の専用設備竣工を目指し、プロセス開発を推進する
- ・**新規動物用医薬品・サプリメントの開発・上市**
農薬開発で培った合成技術・評価技術をベースに、動物用医薬品の開発を推進する
2029年度～2030年度の事業化を目指す



【 TADF 】

成長事業への投資

成長投資 300億円

研究開発費 400億円

- ・**医薬品添加剤「NISSO HPC」**：生産能力を現状の1.5倍に増強（100億円、2026年度竣工）
- ・**有機EL発光材料「TADF」**：各種デバイスへの採用拡大に対応（100億円、2028年度竣工を想定）
- ・**医薬品・危険物自動倉庫**：高付加価値貨物の取り扱い拡大（30億円、2026年度竣工）
- ・**2030年までに新規事業を創出**：有機EL発光材料「TADF」量産技術の確立
新規動物用医薬品・サプリメントの開発
樹脂添加剤「NISSO-PB」難燃・耐熱グレード

日本曹達グループ長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」 今後5年間の取り組み

● 経営基盤の強化

生産年齢人口減少 対策

DX・人的資本投資 100億円

- ・生産年齢人口の減少を見据え、要員10%減少に対応できる体制を2029年度までに構築する
- ・DX推進：研究分野のDX推進、AI・MI技術の強化により効率性向上を図る
スマートファクトリー構想を推進し、生産性向上、品質安定化、予防保全の強化を目指す
- ・業務の標準化・効率化：ERPパッケージを刷新し、グループ会社を含めた業務統合を目指す
- ・長期ビジョンと連動した新人事制度を施行：
働く人々の意識の多様化・VUCAに対応し、「挑戦」「学び」「活かす」を後押しする体制を構築する

既存事業の基盤強化

維持更新投資 300億円

- ・維持・更新投資：投資の必要性を適切に管理し、減価償却費の範囲内で計画的に実施する
スマートファクトリー構想を念頭に、生産性向上、製造コスト低減を目指す
- ・最適生産体制の構築
生産設備、生産技術、人材などのリソース効率化、全体最適の実現を目指す
次世代生産技術の確立：連続フロー合成技術を育成し、農薬製造などへの実装を目指す
海外生産の検討：原料調達から製品納入まで、サプライチェーン全体の効率化を検討する

スタートアップ投資 事業提携・M&A

- ・スタートアップ投資の検討・実施：重点強化技術の外部導入を推進する
【最近2年間で実施した投資】
(株) Kyulux：有機EL発光材料「TADF」の量産体制構築
(株) バッカス・バイオイノベーション：バイオものづくり技術の農薬・医薬品への活用
(株) SENTAN Pharma：ナノ粒子化技術の農薬・アニマルヘルスへの活用
- ・事業提携・M&A：既存事業と周辺事業領域の強化・拡大を図る

重点強化技術

- ・培養技術
- ・ペプチド応用技術
- ・オーガニックメタル応用技術
- ・フロー合成技術
- ・AI・MI技術

日本曹達グループ長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」 今後5年間の取り組み

● 資本効率の改善・株主還元

バランスシート改革

棚卸資産の縮減
政策保有株式の整理

- ・**棚卸資産の縮減**：2029年度までにコロナ禍前の水準である棚卸資産回転率4.0回転を目指す（2025年3月期 2.1回転）
- ・**政策保有株式の整理**：早期に純資産比率10%未満、2029年度までに6%未満を目指す（2025年3月期 10.1%）

有利子負債調達

- ・**有利子負債調達**：財務レバレッジの向上により、資本構成の適正化を図る

株主還元

累進配当方針を導入
自己株式取得を機動的に実施

- ・**累進配当方針の導入**※：安定的、継続的な配当を維持する
※外的要因などにより業績に多大なマイナス影響を及ぼす事態が発生した場合を除く
（2025年3月期配当予定 140円/年（20円増配）を決議）
- ・**自己株式取得**：資本構成の適正化や株価の状況などを考慮し、機動的に実施する
中期経営計画「かがくで、かがやく。Stage II」（2023年度～2025年度）の数値目標である総還元性向50%以上を継続する（2025年5月に50億円の自己株式取得を決議）

3 参考資料

価値創造プロセス

業績推移

ROIC・ROE推移

事業内容

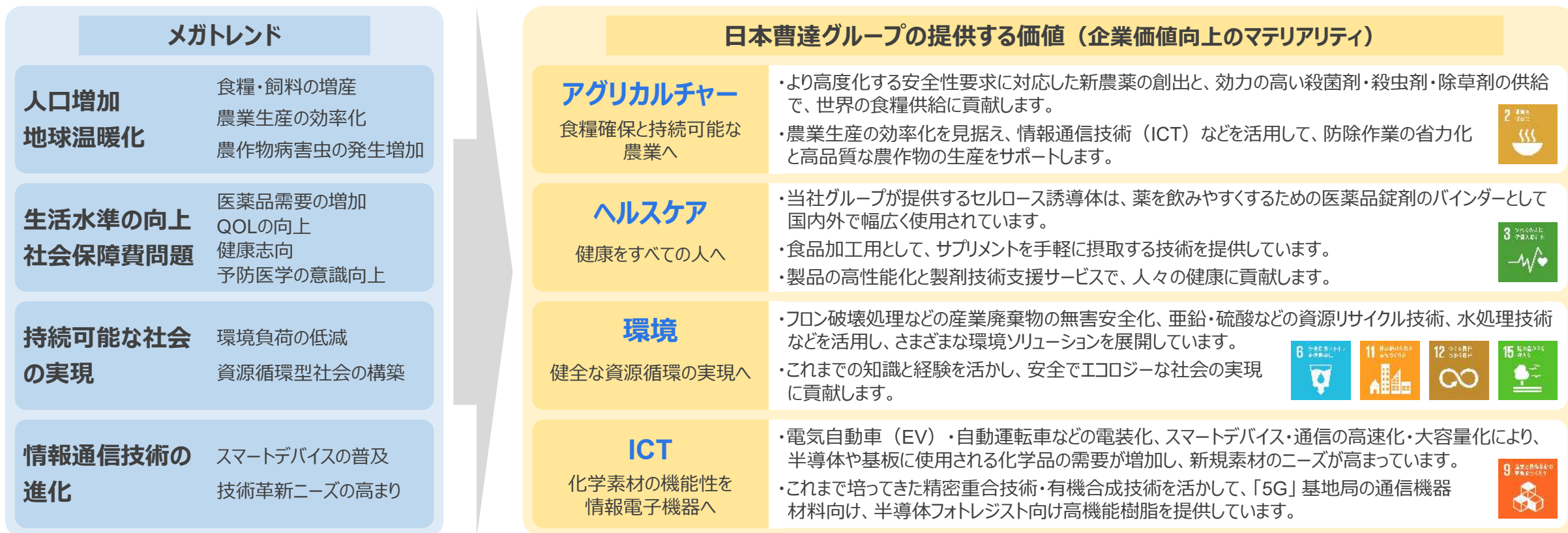
企業集団の状況

● 日本曹達のビジョン

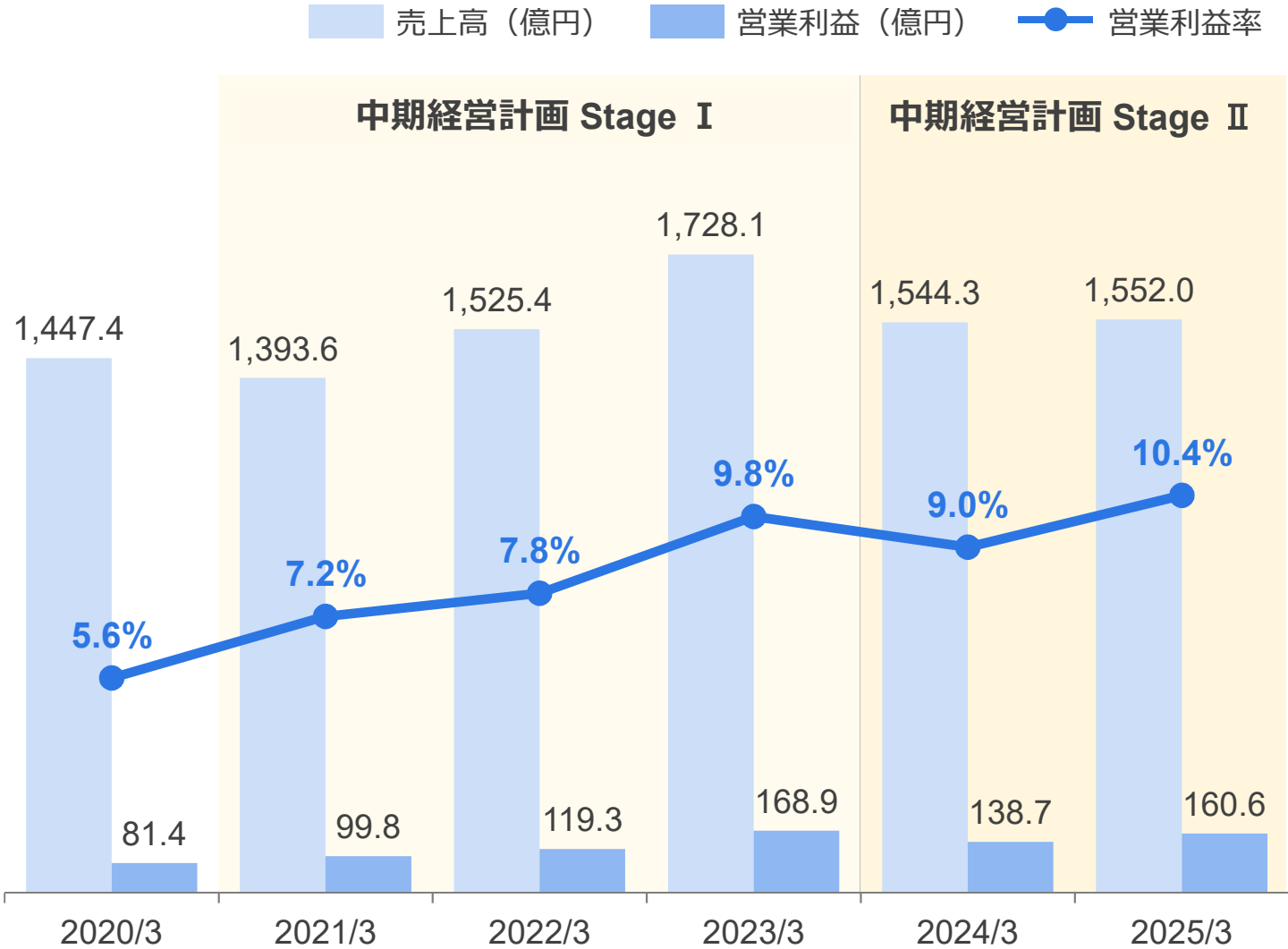
日本曹達は1920年の創立以来、「化学」を通じて新たな価値を世の中に提供し、社会の発展に貢献してまいりました。
当社グループは、さまざまな化学製品・サービスをアグリカルチャー・ヘルスケア・環境・ICT分野に届けることで、人々の暮らしを支えてまいります。

● 日本曹達のミッション（価値創造プロセス）

新たな価値を化学の力で創造し、「社会への貢献」を通じ「企業価値の向上」を実現する。



● 連結業績推移

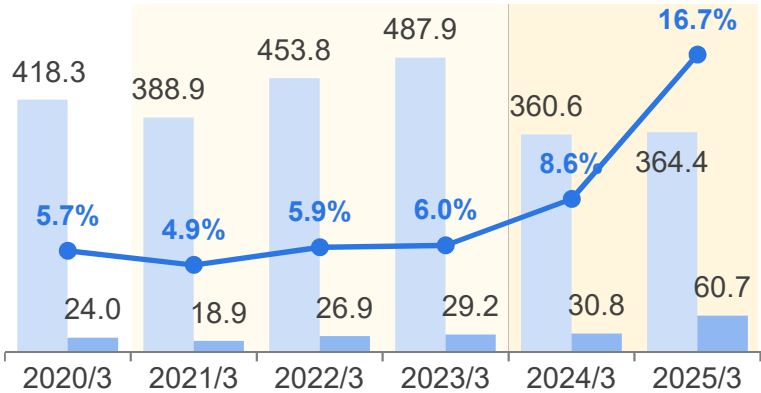


高付加価値事業の拡大と事業ポートフォリオ変革により、利益率が向上

- ・成長ドライバー事業が拡大
新規農薬3剤
医薬品添加剤「NISSO HPC」
半導体KrFフォトレジスト材料「VPポリマー」
樹脂添加剤「NISSO-PB」
- ・カセイカリ電解関連事業を停止
- ・金属ナトリウム・塩素の製造・販売連結子会社 Alkaline社の全株式を譲渡

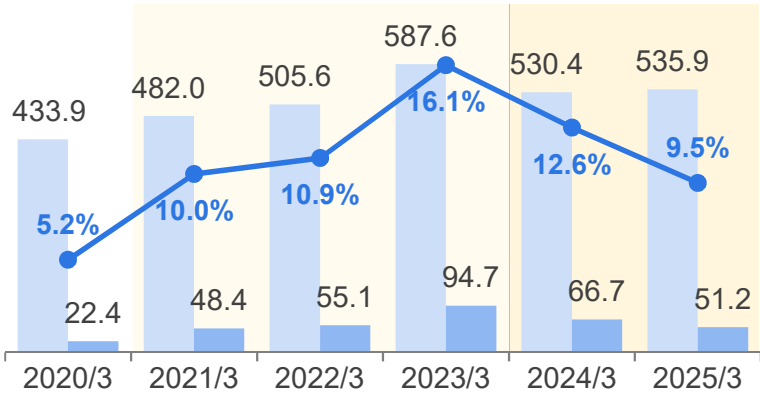
● セグメント別業績推移

【ケミカルマテリアル】



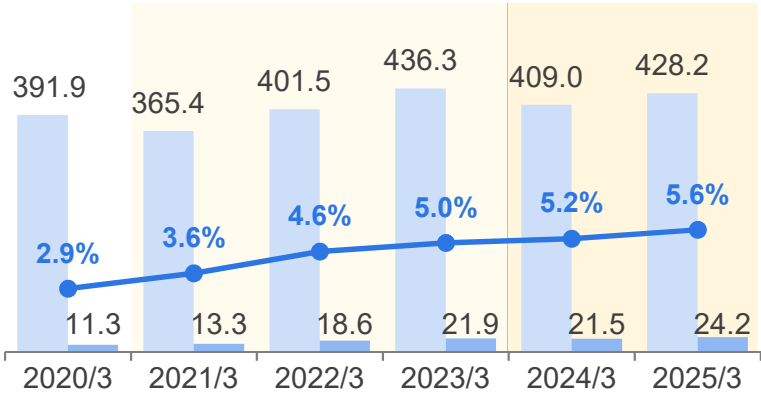
・高付加価値製品の拡大、
不採算事業の整理により
利益率が改善

【アグリビジネス】

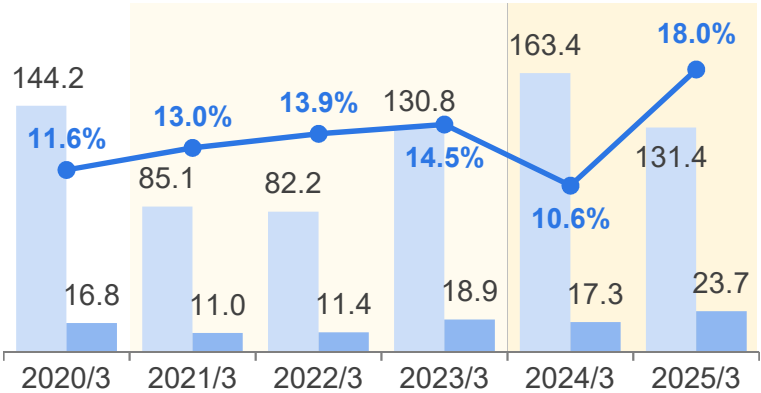


・コロナ禍後の物流混乱により
'23年3月期～'24年3月期に
農薬の先取り需要が発生、
流通在庫が増加したため、
出荷調整を実施

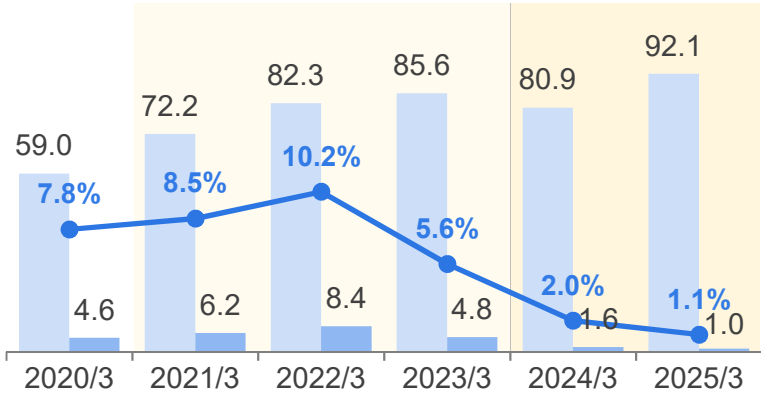
【トレーディング&ロジスティクス】



【エンジニアリング】



【エコソリューション】



参考資料 ROIC・ROE推移

(億円)	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2025/3 備考
売上高	1,447.4	1,393.6	1,525.4	1,728.1	1,544.3	1,552.0	
売上原価	1,068.2 73.8%	1,005.9 72.2%	1,104.3 72.4%	1,235.3 71.5%	1,117.3 72.3%	1,102.6 71.0%	原燃料価格が下落
販売費・一般管理費	297.9 20.6%	287.9 20.7%	301.7 19.8%	323.8 18.7%	288.3 18.7%	288.7 18.6%	
営業利益	81.4 5.6%	99.8 7.2%	119.3 7.8%	168.9 9.8%	138.7 9.0%	160.6 10.4%	
売上債権	435.8 3.1回	452.6 3.1回	525.1 3.1回	487.8 3.4回	550.2 3.0回	501.4 3.0回	
棚卸資産	306.4 3.7回	321.2 3.2回	348.6 3.3回	439.7 3.1回	517.3 2.3回	534.2 2.1回	水島工場の生産終了に伴い、製品在庫を一時的に積み増し
仕入債務	175.1 5.2回	167.1 5.9回	213.2 5.8回	194.0 6.1回	225.5 5.3回	207.3 5.1回	
運転資本	567.1 2.6回	606.7 2.4回	660.5 2.4回	733.5 2.5回	842.0 2.0回	828.3 1.9回	
固定資産	1,144.4 1.2回	1,276.2 1.2回	1,365.7 1.2回	1,366.1 1.3回	1,563.7 1.1回	1,584.5 1.0回	成長投資により、建設仮勘定が増加 投資有価証券が減少
投下資本	1,711.5 0.8回	1,882.9 0.8回	2,026.2 0.8回	2,099.7 0.8回	2,405.7 0.7回	2,412.9 0.6回	
税前ROIC	4.8%	5.3%	5.9%	8.0%	5.8%	6.7%	
持分法による投資利益	18.4	18.6	30.6	78.4	63.2	27.0	前年度に一過性の税還付認識を計上
当期純利益	67.6	73.6	126.8	166.9	166.1	150.1	
期中平均自己資本	1,415.3	1,435.3	1,508.6	1,626.0	1,786.5	1,874.2	
ROE	4.8	5.1	8.4	10.3	9.3	8.0	

(億円)	売上高			主要製品等
	2023/3	2024/3	2025/3	
ケミカルマテリアル	487.9	360.6	364.4	
工業薬品	119.4	113.1	104.5	カセイソーダ、液化塩素、塩酸、青化ソーダ、青化カリ、オキシ塩化磷、三塩化磷
化成品	107.4	92.3	107.7	金属ナトリウム、特殊イソシアネート、アルコラート、有機チタン、感熱紙用顕色剤、二次電池材料
機能材料	70.5	64.9	73.2	NISSO-PB、VPポリマー、1,2-SBS、チタボンド
エコケア製品	51.4	55.8	56.4	日曹ハイクロン、日曹メルサン、テイクワン、ハイジオン、ヌメリ取り剤、ビストレイター
医薬品・工業用殺菌剤	111.5	115.3	130.6	NISSO HPC、日曹DAMN、ファロペネムナトリウム、NISSO SSF、ベストサイド、バイオカット、ミルカット
子会社売上・連結消去	27.7	△80.8	△108.1	
アグリビジネス	587.6	530.4	535.9	
殺菌剤	241.4	239.4	244.4	トップジンM、ベフラン、ベルコート、ピシロック、トリフミン、パンチョ、ミギワ、アグリマイシン、アグロケア（生物農薬）、マスタピース（生物農薬）、ファンタジスタ、ムッシュボルドー、ラビライト
殺虫剤・殺ダニ剤	242.1	225.2	173.6	モスピラン、ニッソラン、ダニオーテ、ロムダン、グリーンガード、コテツ、フェニックス
除草剤	33.0	31.8	34.6	ナブ、トップメリット、アルファード、コンクルード
その他	△2.5	△4.0	△3.0	くん煙剤
子会社売上・連結消去	73.5	38.0	86.3	
トレーディング&ロジスティクス	436.3	409.0	428.2	トレーディング：化学品、機能製品、合成樹脂、産業機器・装置、建設関連製品 ロジスティクス：倉庫・運送業務
エンジニアリング	130.8	163.4	131.4	プラント建設、土木建築
エコソリューション	85.6	80.9	92.1	廃棄物処理、資源リサイクル
連結合計	1,728.1	1,544.3	1,552.0	

※ 2024年3月期より、セグメント区分を変更しています。上記の売上高実績は、新セグメント区分に基づき算出しています。
（従来の「商社事業」と「運輸倉庫事業」を統合。「その他」を新たに「エコソリューション」として、一部製品を「ケミカルマテリアル」に移管。）

参考資料 企業集団の状況（2025年4月1日現在）

会社名	事業内容	事業セグメント
日本曹達株式会社	工業薬品、合成樹脂及び可塑物、染料、医薬品、農業薬品、動物用薬品その他各種化学工業品の製造・加工・販売	ケミカルマテリアル・アグリビジネス
連結子会社（12社）		
日曹商事株式会社	化学薬品、機能製品、合成樹脂、産業機器・装置、建設関連製品、その他の国内販売・輸出入	トレーディング＆ロジスティクス
三和倉庫株式会社	倉庫、運輸、包装、通関業、保険代理業、リース業	トレーディング＆ロジスティクス
三倉運輸株式会社	貨物自動車・運送事業、貨物運送取扱事業	トレーディング＆ロジスティクス
日曹金属化学株式会社	非鉄金属、工業薬品の製造・販売、環境開発事業	ケミカルマテリアル・エコソリューション
日曹エンジニアリング株式会社	産業用・その他の設備装置、機械・配管・土木建築工事等の総合的計画設計・管理施工・販売・コンサルタント	エンジニアリング
株式会社日曹建設	土木建築の設計・施行、土地造成、土石採掘、コンクリート製品の製造・販売	エンジニアリング
新富士化成薬株式会社	農業薬品、医薬品及び動物用医薬品の各くん煙剤の製造・販売、その他農業薬品、医薬品、一般工業薬品の製造加工・販売、小詰及び包装	アグリビジネス
ニッソーファイン株式会社	工業薬品、化学薬品、機能性染料、医薬品、農業薬品及びその中間体、合成樹脂成型品、脱酸素剤、除湿剤、家庭用雑貨品の製造・販売、開発製品の試作	ケミカルマテリアル・アグリビジネス
株式会社ニッソーグリーン	農業薬品、農業用資材、その他製品の販売	アグリビジネス
NISSO AMERICA INC.	諸製品の輸出入・卸販売、諸製品の製造・販売、技術にかかわる情報調査業務の受託	ケミカルマテリアル・アグリビジネス
NISSO CHEMICAL EUROPE GmbH	諸製品の輸出入・卸販売、諸製品の製造・販売、技術にかかわる情報調査業務の受託	ケミカルマテリアル・アグリビジネス
日曹南海アグロ株式会社	農業薬品原体の製造	アグリビジネス
持分法適用関連会社（2社）		
Novus International, Inc.	飼料添加物の製造・販売	
IHARABRAS S/A. INDÚSTRIAS QUÍMICAS	殺虫剤、殺菌剤、除草剤、その他農薬製品の輸出入・卸販売、農業薬品の製造・製剤	

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われますようお願いいたします。

本資料の金額単位は億円であり、小数点第2位を四捨五入しております。



日本曹達株式会社

〔お問い合わせ先〕 日本曹達株式会社 総務部広報・IR課

E-mail : info@nissogr.com

TEL : 03-6366-1920